

令和6年3月11日

学校法人相愛学園

理事長 相田 芳久 殿

令和5年度

学校関係者評価委員会 活動報告書

学校関係者評価委員会

代表 久保山 なぎさ

令和6年2月吉日

学校関係者評価委員 各位

焼津豊田幼稚園

園長 佐野正子

令和5年度 学校関係者評価委員会実施のお知らせ

拝啓

ますますご清栄のことと拝察申し上げます。日頃より本園教育推進にご理解、ご支援を賜り、まことにありがとうございます。

さて、本年度の学校関係者評価委員会を下記のように開催致します。年度末ご多忙のところを恐縮に存じますが、何卒ご出席のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日時 令和6年2月28日(水) 10:30～13:50

会場 焼津豊田幼稚園

内容 園内環境、保育の見学  
令和5年度 園内自己評価等の報告聴取  
協議 他

予定 10:30～11:00 自己評価内容の聴取、質疑応答  
11:00～11:40 園内見学  
11:50～13:00 昼食と協議  
13:00～13:50 意見の取りまとめ

- ・ 自家用車でおいでの際は、園駐車場をご利用ください。
- ・ 昼食(園内給食)をご用意させていただきます。
- ・ ご都合で欠席なさる場合は、園までご一報ください。(628-4004)

以上

## 本日の出席者

- 久保山なぎさ 委員長 (学識経験者、ふたば保育園 園長)
- 福田 陽子 委員 (学識経験者、焼津市立豊田小学校 校長)
- 岡本 康夫 委員 (地区代表、第10自治会会長)
- 杉本 久美子 委員 (学識経験者、相愛学園監事)
- 池谷 尚志 委員 (小規模保育施設「ぷちはうす」経営者)
- 池谷 宗朗 委員 (保護者会代表)
- 松下 早矢加 委員 (保護者会代表)

以上 7名

## 本日の日程

- 10:30 園長より年間事業概要と園内自己評価結果の報告
- 11:00 園内環境見学・保育見学
- 11:50 協議(フリートーク)
- 途中、昼食時間を含めます。
- 13:00 協議内容のまとめ
- 13:50 終了・解散

- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『 あかるく こころゆたかに 』
- 教育目標
- 1 じょうぶなからだに
  - 2 いのちをたいせつに（思いやりのある子に）
  - 3 やる気のある子に
  - 4 よく考える子に

**2 本年度の重点目標**

- 『主体的な子どもの姿を目指して』というテーマに沿って様々な活動や遊び・生活の中から、主体的な子どもの姿を見つけ育てていく。
- ECEQ研修を通して、園の良さをさらに伸ばしたり、課題解決したりするための方策を見つけていく。
- 学び合う時間を大切にしていくなかで、対話的な話し合いを重ね保育の質の向上を図っていく。

**3 自己評価結果について**

評価項目	自己評価	
	評価	取り組み状況及び反省
楽しい園生活が送れるよう教育活動や環境構成の工夫・改善に努める中で、子どもにとって充実したものになるよう配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが第5類になったこともあり、保育行事計画や保育行事の保護者参加も以前に近い形で実施することができた。その都度、個人・学年・全体での省察を行うとともに次に繋がるように改善を心がけた。</li> <li>・指導計画や保育内容、ねらい等の立案の際は、子どもの成長や課題の共通理解を図りながら実施した。また、子ども達が経験を通して自信を持てるよう適切に関わる努力をした。</li> <li>・『主体的な子どもの姿を目指して』というテーマで積み上げてきたことを土台として、8月よりECEQ研修に入っていた。初めての研修だった為、戸惑うことや迷うことも多くあった。“園の良さ・子どもの良さ”“大切にしたいこと””課題となること “” 課題をどうやって修正していくか “…等、コーディネーターの先生方のサポートを受けながら研修を深めていった。</li> </ul> <p>STEP1～5までのおおよそ半年間の研修の中では頭を悩ませることも多々あった。若い保育者は特にそうだっただろうと想像できる。ECEQ研修は年度途中からのスタートだったので、学びを十分に保育に生かしている…ということまでには至っていないが、保育者一人ひとりが少しずつではあるが保育に生かしつつある。</p>

<p>主体的な子どもの姿を目指し、幼児一人一人の内面を育むよう適切な指導・援助が考えられているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導・援助が必要な子どもについては、引き続き個別の指導計画を立案してサポートをしていった。クラス内にいろいろな表れを持つ子ども達の割合が少しずつ増えてきている為、関わるタイミングや方法が非常に難しくなっている。市巡回相談や専門のカウンセラーに相談しアドバイスをいただいたりしているが、保護者の理解を含め対応の工夫が必要である。園側の思いと保護者の思いの違いや気持ちが不安定な保護者対応等も含め、慎重に対応していきたい。</li> <li>・個別指導計画を共有することで、他学年や級外の保育者とも同じ考えで取り組むことができ援助がスムーズとなってきた。級外職員は勤務時間がそれぞれ違うが、自然に意見交換ができるような環境作り（場・時間）を心掛けた。</li> </ul>
<p>園内の施設・設備環境防災対策・感染症対策等が、幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の遊具等は、年1回の専門業者による遊具点検を行いながら安全に努めている。昨年度より日常的な目視や月1回の担任保育者による点検を実施している。それにより遊具等に目が向くようになり、人任せにしないで対応するという点では良い傾向だと思う。</li> <li>・園内外の環境については、経年劣化の物で怪我をすることのないよう、計画的に整備を進め補修等で対応している。事故を未然に防げるような子ども自身の安全に対する意識も育てていかなければならない。（4月当初には集会の中で行うが、折に触れ、担任による遊具の使い方指導も必要である。）</li> <li>・今年度よりヒヤリハットを記録し提出するようにしたが、提出が滞ることもあった。けがをしやすい場所を知ることによって防げる事故もあると思われるので、危険場所マップ等も次年度は製作していきたい。</li> </ul>

☆協議・評価の観点

評価項目 1

一人一人の育ちを丁寧に捉え保育を進めているか。その中で子ども達は生き生き活動しているか。

評価項目 2

子どもの内面を育むよう、個に応じた指導・援助となるよう配慮しているか。

評価項目 3

園内の施設設備環境等、子ども達が安心して生活できる施設設備環境となっているか。

#### 4 学校関係者評価委員会の評価・意見

##### 評価項目1 についての評価

- ・評価委員会当日、全クラスの保育の様子を参観させていただきましたが、フレンドリーな子ども達が多く元気よく挨拶をしてくれました。どの保育室も温かい雰囲気の装飾で飾られ、その中で子ども達が幼稚園生活を楽しんでいる様子を感じました。また、先生方の声かけや見守る姿勢が、子ども達の思いを大切にしている様子を感じ取ることができました。様々な保育内容を展開していましたが、教育の軸がしっかりしているので子ども達が年代ごと健やかに成長している姿が見られるのだと考えます。子ども達にとって有意義な園生活が送れるよう、より一層の努力を期待します。

評価 : A

##### 評価項目2 についての評価

- ・環境が様々な現代社会の中で育つ子ども達なので、いろいろな表れがあり対応が難しいこともあることでしょう。先生方が協力体制を整え、しっかりとした考えを持ち指導援助が行われているのだと思います。また日々の経験の積み重ねから、“聞く”“待つ”“折り合いをつける”というような多方面での育ちも感じました。個と集団をしっかり意識した上での適切な援助、その為の教職員間の連携を深めていきながら、今後も子どもに寄り添った保育を展開していくことを望みます。

評価 : A

##### 評価項目3 についての評価

- ・園内においては、セキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保障するものとなっていることは、保護者にとっても安心材料の一つですので引き続き心掛けていきましょう。昨年までの裏門フェンスの多すぎる掲示物も精査され新しくなった裏門と相まって幼稚園らしい雰囲気なっています。気になる点として、保育室の装飾など温かい雰囲気で良いのですが、物が多く雑然としているクラスもありました。子ども達が一日過ごす保育室内の環境も互いに見直すことも必要かと感じました。
- ・ヒヤリハットの記録・確認・共通理解等、今年度不十分だった点を見直し次年度に繋げていくことを望みます。

評価 : B

令和 6 年 3 月 11 日

以上、学校関係者評価委員会全体の意見として、提出いたします。

令和5年度 焼津豊田幼稚園 学校関係者評価委員会

委員長

久保山 なぎさ 